

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手

岩手県宮古市

三陸北部森林管理署

宮古市は岩手県の沿岸部、三陸海岸のほぼ中央に位置し、太平洋に面した東部の重茂半島には、本州最東端の地「鮭ヶ崎」があります。

三陸海岸は、宮古を境に、北側は海食崖や海岸段丘が発達した隆起海岸、南側は入江と岬が複雑に入り組んだリアス海岸になっています。変化に富んだ壮大な景観は、東日本大震災後に「三陸復興国立公園」や「三陸ジオパーク」となり、多くの観光客が訪れています。



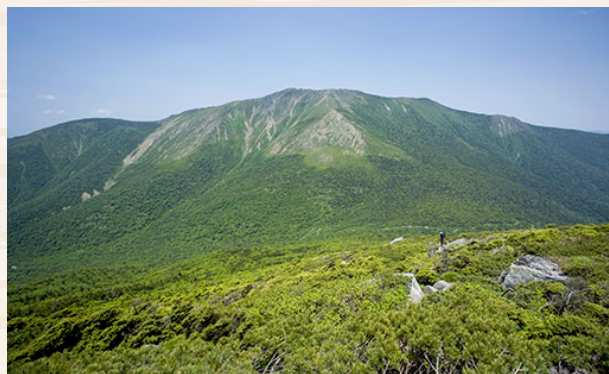
本州最東端の地「鮭ヶ崎」

三陸・宮古の代表的な景勝地で、国指定名勝の「浄土ヶ浜」は、江戸時代に宮古山常安寺の僧侶がその美しさに「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆したことから名付けられました。浄土ヶ浜では、海水浴やシーカヤック、「青の洞窟サップ船遊覧」など様々なアクティビティが体験できるほか、令和4年7月から三陸ジオパークの見どころをガイドが案内する遊覧船「宮古うみねこ丸」が就航しました。



浄土ヶ浜と「宮古うみねこ丸」

市街地の南北と西側は、市の総面積の約92%を占める森林が広がり、急峻な山々と丘陵地を有する広大な北上山地になっています。なかでも、最高峰の早池峰山（1,917m）は、固有種や希少種の花が多く「花の百名山」に選定され、シーズンには多くの登山客が頂を目指します。一帯は高山植物の宝庫として「早池峰国立公園」に指定されています。



高山植物の宝庫「早池峰山」

早池峰を水源の一つとする閉伊川は、深山から流れ出す清水と養分を集めて宮古湾へと流れ下ります。宮古は古くから漁業の町として栄え、年間を通じて豊富な海産物に恵まれています。

名物の「瓶ドン」は、いくらやウニ、トラウトサーモンなど瓶に詰められた新鮮な海の幸をご飯にかけてオリジナルの海鮮丼を作る、体験型のご当地丼です。市内の複数の食事処や宿泊施設で提供されており、店舗ごとに具材や味が異なるので、食べ比べて楽しむこともできます。

森・川・海の魅力がたっぷり詰まった宮古市へ、ぜひお越しください。



宮古市のご当地丼「瓶ドン」

お問合せ先：宮古市観光課 Tel.0193-68-9091